

令和4年度 第2回横須賀市観光振興推進委員会 議事要旨

日 時：令和5年(2023年)1月19日(木) 14時30分～16時30分

場 所：横須賀市役所10階 第4委員会室

- ・ 外国人の観光消費単価は、日本人の観光消費単価とは全く違う。現在は日本人と外国人の別がない平均消費単価を使用しているが、もし可能であれば、外国人の観光消費単価を算出できるとなお良い。
- ・ 観光消費単価は、宿泊と日帰り、日本人と外国人で大きく異なる。観光消費単価を国内、国外、日帰り、宿泊の4象限で見ることができると、追いかける目標がより明確になるのではないか。
- ・ 市民の方々が観光についてどう思っているかは、重要な指標である。次の観光立市推進基本計画やアクションプランの改定の際には、指標のひとつとして取り入れてほしい。
- ・ 地域としての持続可能性や、SDGs、GX（グリーントランスフォーメーション）といった新しい観光の要素について、どこかで触れた方が良いのではないか。
- ・ 2019年度実績で、インバウンド全体の82.3%がアジア圏の方々であった。横須賀市は強みとしてのアメリカは重要であるが、1日あたりの観光消費単価が高いアジア圏の方々にもどう来てもらうかが重要である。

- ・ インバウンドの視点でいうと、何をみていただくかが重要である。横須賀市は自然が豊富であるので、各種コンテンツと自然を組み合わせる戦略を検討する必要があるのではないか。
- ・ どういう方法で消費単価を増加させるかということを考えることが重要である。例えば、高単価な商品やサービスを開発するという方法や、買いやすい環境を構築するという方法がある。方法論で分類すると良いのではないか。
- ・ 今後、観光DX（デジタルトランスフォーメーション）がさらに重要となってくる。デジタルを活用することにより、観光コンテンツが可視化され、追加消費がしやすくなる。
- ・ 今回のアクションプランのなかには、エリア別の視点での計画はないが、将来的にエリアをどのように整理するかは非常に重要である。
- ・ 横須賀市の姉妹都市や友好都市をテーマとした横須賀美術館の展示は相当な集客効果があるのではないか。
- ・ 周遊・再来訪を促す仕組みづくりの記載があるが、陸のルートに加えて、海のルートの要素も追加した方が良いのではないか。